

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 森下美和 副委員長 坪田 康・高田明典

幹事 竹内和広・神長伸幸 幹事補佐 山田寛章・下郡啓夫

日時 3月10日(金) 17:15~18:15

11日(土) 10:00~18:00

会場 オンライン開催(京都工繊大・坪田 康)

議題 テーマ1:通訳翻訳・ホスピタリティコミュニケーション, テーマ2:言語景観・言語の学習・言語接触・意味の創発, テーマ3:前提の共有と操作・言語と学習・ナラティブ・メタバース

10日午後 招待講演(1日目)(17:15~18:15)

1. [招待講演] AI and AW (Assistive Writing): Introducing Linggle Write
Jason S. Chang (National Tsing Hua Univ.)

11日午前 午前セッション(10:00~12:00)

- キーワード分類によるアイデアの創出支援技法と既存技法の比較研究
○阪原 淳・長谷川まどか(宇都宮大)・伊藤 篤(中大)
- 日本語ディスレクシアの認知障害と脳機能学的基盤—音韻性障害と視覚性障害—
○杉本明子・柴崎光世(明星大)・吉田弘司(比治山大)・杉本 光(東大)
- インプットが日本人英語学習者の第二言語産出時の統語的プライミング効果に及ぼす影響 濱田真由(神戸大)
- オンライン国際交流プログラムにおける日本人高校生の国際コミュニケーション能力の変容
○横川博一・津阪菜名(神戸大)・ホーン沙耶佳・五十嵐駿太(With The World)

11日午後 招待講演(2日目)(13:00~14:00)

5. 言語景観から情報保障と言語権を考える—学生たちの活動の報告— 山崎直樹(関西大)

午後 第1セッション(14:15~15:45)

- 文法的機械の創発的推論—演繹体系における連想知識の獲得— 原田康也(早大)
- 2つの認知過程—量化と関係化の意味を対照させる言語学習 佐野 洋(東京外語大)
- 判断表現・感情表現の論理構造—翻訳におけるの普遍の意味— 佐良木 昌(明大)

午後 第2セッション(16:00~18:00)

- 音声・ビデオ課題達成対話の均一的なトランスクリプト作成に向けて—発話の重なりを中心に—
○谷村 緑(立命館大)・川端良子(国立国語研)・吉田悦子(滋賀県立大)・竹内和広(阪電通大)
- 日本とタイにおける自然観の比較—森林浴の効果の言語化—
○佐藤陽生・中山春佳・平松裕子・伊藤 篤(中大)・上田一貴(東大)・原田康也(早大)・長谷川まどか(宇都宮大)
- 食材登録DBのためのUX設計—食文化の記述—
○工藤 遥(中大)・高橋喜幸(料理マスターズ)・福留奈美(聖栄大)・原田康也(早大)・平松裕子・伊藤 篤(中大)
- 京都の言語景観—インバウンド観光客不在で明らかになったこと— 森下美和(神戸学院大)

【問合先】

坪田 康(京都工繊大)

E-mail: tsubota.yasushi@gmail.com